

編 誤解されそう

ハードロック工業
ゆるみ止めナット製造・販売

「音楽事務所とか楽器メーカーと勘違いされることはありますね」というこの会社。が、実際はナット界のトップ企業だ。

「弊社のメイン商品はハードロックナット。ハードに『堅く』ロックスする『締める』という意味です。ウチの社長は以前、Uナットという商品を扱う富士精密製作所という会社を経営していたんですが、それだと社名と商品名が結びつかない。そこで、74年に新たな会社を立ち上げるときに、『この商品はこの会社で作っているんだ』と一目瞭然とわかるようにしたいと考え、

音楽事務所とか楽器メーカーと勘違いされることはありませんね

「アメリカではさすがに『ハードロック』での商標が取れなかった(笑)。向こうには『ハードロックカフェ』とかもありますから。現在は『ハードロックナット』で再申請しています」

音楽はさておき、ナットの『日本製ハードロック』は世界に誇れますだ。



ヤリステ
コンベヤ自動替替え装置
などの開発 製造 販売

「インパクトがあるので覚えてもらいやすいですが、やっぱりつばなし。のようにとらえられてしまうと、マイナスイメージになりますよ」

あたりや商事
不動産業

同社のHPによると「響がよい物件に『あたり』ますように」が由来らしいが、どうもあらぬ商売を想像しちゃう……。怒られるのを覚悟で電話すると、二代目社長が開口一番「私の代で変えよう」と

つてしましますよ(苦笑)」と同社の広報担当者も自認しているが、実はこの「ヤリステ」の由来には古い歴史があるとか。

「百数十年前の社長の先祖は鎗鍛冶の職人だったんですが、弊社の創業者に当たるその先祖は「捨松」という名前だったそうなんです。その「鎗屋の捨松」を略し、さらに「捨」の字を変えた

「『鎮定(やりすて)』という社名で、しばらくは事業を営んでおりました。ただ、お客様などから、漢字だと読みづらいという声があったため、84年の法人化を機に、ヤリステ」とカタカナ表記に変更し、現在に至ります」

そんな由緒ある名前には、でも、読みやすくなつた半面、あらぬ誤解を生んだのは想定外!!

もっこり竹の子観光
観光バス業

「たんぼほ『ひまわり』などの候補の中から選ばれたという『竹の子』。あつという間にすくすく育つから」ということで「竹の子」が選ばれたというの理解できるが……なぜ「もっこり」?

「ただの『竹の子観光』だと物足りない気がしたんです。そこで『笑つていいとも!』の『笑つて』のように、頭になか響きのいい言葉

をつけようと考えたとき、『もっこり』がフツと頭に浮かんだんです。まあ、最初は周囲から反対されましたけど、三瓶久社長が社名が面白いという理由で新規の取引先ができたというメリットもあるよんだが、バスガイドさんが脱着しなかつちゃうんじゃ? 「会社設立当初は、『もっこり竹の子観光バス』をご利用いただきましたよ」と言のに隣隣していた方もいたよですが、最近では小学校の遠足などは、『もっこりバス』に乗つてますよ」と特急歌を歌うらしい馴染みでもってますよ。ただ、皇居で行われる御覧のセレモニーでの送迎の仕事は、車体に社名が入っているために、宮内庁関係の方から、次回からは勘弁してください」と断られたこともありますがね(笑)」。宮内庁で、『もっこり』とはいかがなものか」と議論する社名って、ある意味スクールがデカイ!